

さくらの季節



心躍る季節、さくら前線が北上する時期になりました。桜を愛でながら、日本人で良かったと感じるのは自分一人ではないと思っています。

さくらの「さ」は早苗や早乙女、皐月など同じく稲に関係し、田の神様を表すと言われています。「くら」は、田の神様が鎮まる場所とのことです。つまり、桜は山から降りた田の神様が宿り、豊作をもたらし、私たちに生きる喜びと幸福を与えてくれる象徴的な木となっています。また、場所取りをしてまで、花見をするのは、桜以外にはありません。これは、神様を迎える神事に由来するからと言われています。

数年前までは、野鳥の被害もあり開花がまばらな年もありましたが、消毒や予防策が実り、このところ山笑う桜

満開の榎山公園になりました。4年ぶりに開催

される桜まつりは、今月15日、16



日の日程です。にしんあぶり、豚あぶり、ガッサーモンもみなさんをお待ちしています。併せて、グランドゴルフ大会、カラオケ大会イベントも開催予定です。

昨年、あまるめさくら咲多会が公益社団法人日本さくらの会より「さくら功労者」として表彰を受けました。これは、長年桜の植樹など桜の振興事業に顕著な功績があった団体に該当し受賞したものです。美しい桜を維持するには普段の手入れも重要です。今年度はウインドーム周辺でも桜の植樹を予定していますので、みなさんからもぜひ参加、ご協力をお願いします。

日本では古来より全てのものに八百万やおよぼうずの神が宿るとされ、山形県では草木塔の文化も根付いています。自然に感謝し、学び、共生を目指す、活動的な新年度にしたいものです。